

令和6年度 学校評価総括（計画）表【I】 香芝市立旭ヶ丘小学校

教 育 目 標		判断力・表現力・想像力を身に付け、命を大切にする子供の育成	
運 営 方 針		明日も行きたくなる「笑学校」	
目指す子供像		目指す学校像	目指す教職員像
・明るく進んであいさつする子 ・人を思いやり、共にによりよく生きていこうとする子 ・よく考え、進んで学び ・進んで体をきたえる子		・挨拶のあふれる学校 ・明るく楽しい学校 ・人を大切にする学校 ・規律、礼儀の正しい学校 ・地域と共に歩む学校	・笑顔で接し児童と共に歩む教職員 ・分かる授業を創造する教職員 ・児童、保護者、地域から信頼される教職員 ・日々、学び続ける教職員
学校経営	評価の観点	平均値 4段階	課題と改善点
教育の目標・指導の重点	1. 学校教育目標や指導の重点に基づいて、前年度の課題を踏まえ、自身の教育活動を展開している。	3.2	・異動したばかりで、前年度の旭丘小学校の課題が、分かりづらかった。もう少し丁寧に伝達してもらえたら、嬉しく思います。 ・深いところまで考えて実行するにはいつも時間が足りないし、心のゆとりが生まれないことが何よりも完全を目指せない理由です。 ★時間の許すがぎり、学校教育目標や指導の重点について共有する時間をもてるようにしたいと思います。
	2. 学校教育目標が管理職から教職員に共有され、教育活動を進める上で生かされている。	3.0	・子どもたちに命や心を大切にする心を育もうと言うなら、管理職はもっと職員の命や心を大切にしてほしい。 ・管理職と現場とのより親密な交流 ・会議や終礼、また、式中の児童への講話の中でおっしゃっている。会議の中で意見を図る際も本質をついておられると思う。 ・まだお互いの理解が十分ではないと感じます。教育活動は日々行われていてもその内容には個人差があることがあたりまえだし、個人の個性や特性を知ってはいいても自分の考えとマッチしないと「良さ」は気付けないし、気付けないからその良さを伸ばせないと思います。しかしそれでもそんなことはなかなかできないことだと思うので、「個人」の立場や状況を考えて対応していくことだけでも必要なのではないかと思います。 ★なんでも言い合える職員室やその関係を作るために、さらに積極的にコミュニケーションを図るようにしていきたいと思います。
	3. 学校教育目標が、保護者や地域住民等に発信され、理解されている。	2.8	・学校だよりなどでのお知らせを工夫する。 ・教育目標は校長先生からの学校だよりで周知されている。内容も校内行事の様子がよくわかってよい。保護者がより読んでくれるように学校だよりは配布してもいいと思う（配布の手間と時間と紙代は必要）。 ・運動会やかけあしなどのイベントを行う際に前もって回覧板や看板などによって呼びかける。 ・改善は現在では難しいと感じています。地域の方との交流は様々なボランティア活動で助けて頂いていますのでわかって頂いているように思いますが、保護者との距離感がだんだん上下感を感じさせることが多く、ともに子どもたちを育てていく立場であると感じて頂いていないと思うことが度々あります。教師がへりくだりすぎているのではないかと思います。また、揉め事が長くなることを恐れ、心をくくります。教師の立場が低いことは果たして正しい教育ができるのか時代とともに難しくなっています。 ・ソフト面だけでなく、「あかるく、さわやかに、ひとりひとりをたいせつに」の標語をもっと目立つように掲げるなどの案はどうでしょうか。来校の度に必ず目に入るような大きさや方法、例えば他校では道路に向けた大看板や言葉を入れた立像などを設置しているところもあります。 ★学校外への情報発信の工夫をさらに行えないか検討していきます。
	4. 校務分掌は、適材適所に配置されている。	3.0	・仕事が重ならないようになり、一部の先生への過度な負担は減ってきているように思う。 ・同じ人に仕事が重ならないようにしていく。各部の主任等が重ならないようにしてほしい。 ・学年主任が携わる会議等が多いので、他の主任とたぶらないようにしてほしい。図書館担当は、コミュニティ協議会の会議にも参加するので、学年主任や各部の主任と重ならないようにしてほしい。 ・勤務状況や雇用形態、来年度への引き継ぎなども考慮に入れての人事が必要だと感じる。 ・校務分掌が一部のみに偏らないように、現在と同様に学年主任と分掌の主任が被らないようにしていただきたいです。 ・人事はもう少し早く確定してほしい。 ・人が足りないことが原因です。 ★校務分掌については本年度同様、仕事の重なりをできるだけなくす工夫を行っていきます。

組織運営校務

組織運営校務	5. 管理職が中心となり、学年・学級の相互の連絡が円滑で学校全体として機能している。	2. 5	・適切な人事や、報連相が必要だと感じます。 ・管理職が学年・学級間を取り持たなくてもそれぞれで十分機能しているし、職員から管理職への報告、管理職からの周知もされている。風通しはよいと思う。 ・ここ数年、特に今年は細かい部分でうまく機能せず意思疎通が十分でないと思います。 ・紙の文書がないデジタルでも、検討する時間が少ないからか、慣れていない担当であることで理解が足りないからか、現況では改善は難しいと感じています。 ・学校内で決まったことやこれから進めていくべき方向など管理職から職員全体に伝えていただきたいと感じます。 ・肝心な報告が学年に来ていないことが多いです。管理職の先生は話しやすい人ばかりに声をかけをしているように感じる。 ・4年生のことについてはとても残念に思います。より親密に連携をお願いします。 ・年度途中での人員不足により、学校全体が余裕を失ってしまった。会議、部会の集まり等、共通理解しなければいけないもの、そうでないものをさらに選別して、実施していく必要がある。 ・できるだけ共有していくようにしてもらっているが、学年・学級で抱え込まないような環境づくりをしていってほしい。また、できるだけみんなで共有していけるようにしていきたい。 ・2学期以降改善されていると感じる。 ★風通しの良い職員室を目指し、必要な情報ができるだけ早く伝わる体制と雰囲気を作り上げていきたいと思っています。
	6. 教育活動を効果的に行うための教材・教具の整備・管理・活用はよくできている。	3. 0	・体育倉庫や体育館の倉庫、算数の教具など使ったあとは丁寧に片付けることを気をつけてほしい。 ・体育館で使ったものは、きちんと片付けて、次の授業者に渡す必要がある。 ・よく揃っていると思いますが、せっかくあるのに全然使われていないものが見られるので、効率的な活用法を模索する必要がある。備品点検で見当たらないものも多くチェックが大変である。 ・新しい教科書になって今までは異なる教材になったり、教材が開校時のものでとても古くなっているものがある。 ・道具の管理がよい加減になっている事があった。今までは有志でやってくれている人が多かったのだろうと思う。定期的に、整理整頓をする時期を、職員作業などとする必要があるのでは。（体育倉庫や教材室、専科のいない部屋など） ・教材教具についてだけではなく、文具についてももっと整備してほしいと願っています。例えば、赤インクカートリッジは提供されるようになりましたが、赤ペンには配布されていないのが現状です。その他にも、何かと個人物の持ち込みや使用が当然のような環境があり、仕事をする組織としておかしく感じます。 ★備品チェックでは大変ご苦労をおかけしています。来年度以降工夫できる点を模索していきたいと思っています。 ★職員室のクラスルームにアップした備品・消耗品購入希望の表に、必要なものは記入してください。
	7. 予算の編成・執行の方法や手続きなどは適正、効率的に行われている。	3. 2	・異動したばかりで、私自身が仕組みを理解できていなかった。 ・予算の執行については適正だと思うが、予算が少ないのが困る。 ・年度末に、来年度の学年が使えるように、算数セットや黒板などの適切なものを用意して欲しい。教室の移動もあったからか、小黒板が使いにくいものがあった。また、あったら便利な教材も、年度末にある程度リストに上げておくと、次の学年の先生が参考に、希望を出せると思う。 ・全てに言えることだが、予算が物価高に追いついていない。 ★職員室のクラスルームにアップした備品・消耗品購入希望の表に、必要なものは記入してください。
学校評価	8. 自己評価を踏まえて改善しようとしている。	3. 1	・学校行事や体育的行事について、学校としてどうして行くのかをじっくり検討していくことができるようになればいいと思う。学校職員でよりよい教育活動ができるように検討していったことが、次年度にいかされていく学校になってほしい。 ・その年度の児童の実態をみて、学級経営の柱を考えています。
	9. 学校評価の結果を踏まえて改善がされている。	2. 6	・管理職が率先して働き方改革を進める必要がある。大きな負担業務は減らすべき。例えば、家庭訪問の廃止や運動会の半日開催など。行事の精選をすれば、身体の調子を崩さなくてすむし、そのゆとりを子どもへの関わり方で還元できると思う。 ・改善を提案しても、改善できないことがあるのは、納得いかない。職員の意見を出し合って検討したことがいかされる学校であってほしい。 ・学校評価や総括で出た意見が次年度にあまり反映されていないと感じます。改善ポイントをリスト化し、年度初めにもう一度確認するようにして、確実に実行できるようにした方がよいと思う。 ・授業研究など子どもへの教育という視点からの改善には前向きですが、働くものの組織として、学校や職員室がうまく機能するためのマネジメントには無頓着であると感じられます。この視点は2、3年前の学校評価から散見していますが、本年度、とうとう大きな問題になりました。今後、変わっていくとよいと思います。 ★年度の初めに、前年度の学校評価の課題点や総括での申し送りを確認するようにします。
	10. 学校や地域の実態及び児童の特性を踏まえ、主体的に活動できるような教育課程を編成している。	3. 1	・より主体的な取り組みは考えられますが、終わらせなければならないことがますます増えていく現状では、これ以上踏み込めません。

教育課程	1 1. 年間授業時数の確保と週時程の運営ができています。	3. 4	・家庭訪問を廃止しそこに授業を当てれば、学期末の多忙時に授業を減らせるはず。学期末の成績処理の大切な時期での教員の負担を感じ取ってほしいです。 ・十分な授業時数を確保できているので、もう少し余裕をもった予定にしてほしい（学期始め・学期終わり4限授業を増やす）教員が余裕を持って、教材研究や成績評価ができる。 ・時数が足りていないと感じるのは、行事に関わる時間がおおいのではないかと思います。行事の見直しやそれぞれの行事をどの時間としてカウントするかを検討しなおすことも必要なのではないでしょうか。 ・サンライズは、午後授業がなくても振替休日が出来たのに、その他の日だと振替休日が出来ないと言われる理由がよくわかりません。 ・学校裁量で授業時数を調整できるようにしてほしいです。成績シーズンは、授業時数の削減や授業時間を短縮して事務作業の時間を確保してほしいです。（他の市町村で実施されているところは多いです、そして香芝北中学も職員のために短縮授業日を多く設定しています。）残業ありきの年間計画になっているので、心身のゆとりがない状態になるのは当然だと思います。 ・学期始めと学期末に半日で下校する日が数日欲しい。ゆっくり仕事ができる時間がほしい。 ・改善改善ばかりではなく、現状でできていることの評価がほしいと思っています。改善するとすれば教職員側がするというよりも、本来の教育活動ではないことで時数を減らしたり教員の教材研究や学級事務の時間を減らしたりすることがないよう、改善してもらいたいです。 ★来年度については家庭訪問は実施予定です。授業参観は回数を減らして実施します。仕事の時間を確保できるように、会議の回数を減らしたり、行事の時間の見直しができたりしないか検討をしていきたいと思っています。
地域連携	1 2. 学校と地域社会との連携がよくできている。	3. 3	・ミシンの実習や調理実習では地域や保護者のボランティアの方に来ていただき、とても助かりました。 ・今年度、中庭の学年圖の耕しなどを地域の方がやってくださり助かりました。 ・コミュニティ会議が活かされている。 ・コーディネーターの方の存在が大きく、地域、PTAさんとの連携があるため、多方面で助かっているように思う。
	1 3. 関係諸機関との連携がよくできている。	3. 1	・教員の負担をもっと市教委に伝えてほしいです。 ・SSWとの連携をもっとしっかりとることが必要なケースについては、連携をとりあうことが必要だと思う。 ・市教委に大事な話を通っていなかったことがあった。人手が足りないことや、上に言って欲しいと訴えたことが、伝えてもらえてないのではと感じた。 ★関係機関との情報共有については、適宜していますが、今後も徹底していきます。
	1 4. PTAとの連携がよくできている。	3. 3	・協力的でとても有難い。 ・学校運営に協力的でありがたい。 ・サンライズフェスティバルの情報がほとんど何も知らされず、児童からたくさんの質問があつて困った。
	1 5. 地域の人材・施設・環境等を十分活用した学習ができています。	3. 2	・職員の朝の立哨について、無くして頂きたい。勤務時間外のことで、削減できる仕事だと思うからです。 ・しずみ会や健康会のみなさんとのつながりなど、定着しているものもあればそうでないものもあるので、誰がどの学年を担当してもつながりをもてるように、整理して引き継ぐ必要があると感じる。 ・ゲストティーチャーや、見学先諸機関、店舗の連絡先・内容などを、旭ヶ丘小版の人材バンクのようにまとめておくと、次年度以降使いやすいのではないかと思います。 ・家庭科のボランティアなど非常に助かりました。 ★朝の立証は生徒指導部からの総括で、立哨場所を減らす方向で考えていただいています。また、勤務時間の割り振りも使ってください。 ★それぞれの学年で行う取組の共有ができる工夫をしていきます。
危機管理	1 6. 公文書や個人情報の管理・保護を適切に行っている。	3. 4	・厳しいことを言えば、個人持ちのPC、タブレット、スマホを使っていることもおかしいので、4点はつけられません。民間の会社ではありえないかと思います。 ★これまでもお伝えしていますが、個人のICT機器等は使用できません。
	1 7. 危機管理に対し、教職員全員が共通理解している。	3. 1	・避難訓練の計画でだされたが、災害に対する計画と避難計画等が合致していないと矛盾が出てくるので、年度当初にしっかりと合わせていくことが大切だと思う。 ・不審者訓練や避難訓練など、もう少し案を出しあう必要があると思う。 ・全員ではない。 ・不審者対応の訓練も必要に感じる。児童も入れた訓練も可能なら行った方がよいと思う。 ★年度当初の確認と、訓練内容の充実を図る。
	1 8. 校舎・施設の安全点検がよく行われている。	3. 1	・点検は、きちんとされているが、修理の必要だと思われることが、すぐに修理されるものと、改修時にいうことで保留されてしまっていることがあるように思う。修理が必要と思われることについては、早急に修理・改善してほしい。 ・安全点検の項目をチェックしたり、気付いた点について記入したりできるデータを作成し、担当が各自の場所について入力を行い、情報を共有できるようにできればいいなと思いました。 ・改修が必要な箇所が多く見られます。 ・プールの改修が入ってよかった。 ・安全点検の箇所については毎回きちんと行っていますが、校舎外壁など気になるところはいろいろあります。職員の点検だけでなく、市の担当者や専門業者の方の点検も必要ではないでしょうか。 ・改修までの余裕がありません。支援ボランティアなどの力をお借りできないでしょうか。 ・トイレの全面改修の早期実現をお願いします。 ★来年度、トイレ改修予定です。修理箇所についてはできる限り手を回せるように努力していきます。

令和6年度 学校評価総括（計画）表【Ⅱ】

香芝市立旭ヶ丘小学校

教育活動	評価の観点	平均値 4段階	課題と改善点
	1 9. 指導要領に基づき、学校教育目標等を踏まえ、各教科等の年間指導計画を活用している。	3. 4	

学習指導

20. 各教科の指導内容について、基礎・基本を明確にし、教科の精選・工夫を計画的に行っている。	3.3	・時間が足りない。できる限りしていても十分ではない。
21. 教材研究を通して指導法や学習形態の工夫をし、児童が集中して取り組む授業を行っている。	3.2	・研究授業に対して学年全体で検討し、取り組めたことが自分のモチベーションも上がりよかった。
22. 体験活動を多く取り入れるなど、児童がより主体的に学ぶ授業づくりに取り組んでいる。	3.0	・コロナ禍が終わり、少しずつ増えているように思うが、もっと積極的に取り入れても良いと思う。 ・できることとできないことがあるため、十分ではない。 ・もっと取り入れることもできると思いますが、他にも終わらせなければいけないことが多いなかでは現状で仕方ないというかんじです ・理科の実験が多くできるように工夫した。
23. 各教科の評価規準を設定、共通理解し、学習を進めている。	3.2	
24. 授業における児童の学習状況を適切に評価し、指導に生かしている。	3.3	
25. パソコンやデジカメ、視聴覚機器などを利用して、効果的に学習を進めている。	3.3	・PCが故障した子のPCは、いつ返ってくるのでしょうか？1年以上返ってきていない子がいます。 ・児童のパソコンの取扱が難になってきているように感じるので、定期的に指導を行う必要があるように感じる。 ・ICT支援の先生には、たくさん助けてもらっています。ありがとうございます。 ・使えるものの選別や、買い替えなどをチェックする職員作業が必要に思う。担当だけでは、大変だと思う。 ・効果的に活用しようとする先生方は取り組まれているが、教室のテレビやコードなど環境が整っていない場面がある。使う環境を整えてほしい。 ・年々先生方のICTの効果的な活用が増えているなど感じる。各教室のテレビでは子どもから遠いし、画面も小さいと思うので移動式のモニターが各教室に欲しいと思った。 ★児童用PCの補充についてはこれからもお願いしていきます。

学習意欲

26. 全職員で児童の学習の実態を分析し、児童の学習課題を明確にして取り組んでいる。	3.3	・各学年では出来ているように思うが、学年を跨いで取り組みができていない。 ・学期に1度程度、学習指導部で集まって、各学年の課題や取り組みなどを、口頭で共有する場があってもいいのかもしれない。 ・子どもを出し合う研修や終礼での学年からの連絡など、共有は十分にされているが、子どものことを出し合う研修に出す児童の基準や共有方法にはもう少し整理する必要があると思う。 ★来年度は学力向上部で児童の実態の分析や課題克服のための取組について検討していきたいと思います。
27. 各教科等において学習意欲向上のための具体的な取組を行っている。	3.3	
28. 家庭での学習習慣の定着に向けた具体的な取組ができています。	3.0	・家庭学習、宿題などの取り組み方に対する旭ヶ丘のスタンダードを作成する。 ・もう少しタブレットを使った宿題も出したらよかったと思った。 ★家庭学習の手引き等を作成している学校や都市があります。そのようなものを作成できないか検討します。

生徒指

29. 児童の実態について共通理解し、教職員が連携して、組織的・継続的に指導する体制が整っている。	3.4	・特に支援・指導が必要な児童・家庭については、教員一人が抱えるのではなく、教職員が連携して指導・対応していくが必要だと思う。 ・終礼や会議、気になる子の研修など適宜児童の実態をよく共有してくださっていると思います。 ★子どものことを出し合う研修だけでなく、終礼等での共通理解を来年度も続けていきます。
30. 生活指導を通して児童が学校のルールを守っている。	2.8	・指導するとなおるが、教師が見ていないとルールを守っていないことが多いので、委員会活動などを通して、ルールなどを定期的に周知する必要がある。ルールを守る雰囲気醸成していく必要がある。 ・ルールを守るように指導しているが、ルールを守らない児童についてどう対応していくのかがとても難しい。 ・月ごとの生活目標の配布は、効果的でした。どうしてそのまもりを守らなければいけないかを考えるきっかけになりました。 ★実態が変わらないのであれば新たな取組をみんなで考え実行していきましょう。
31. あいさつの指導がなされ、児童のあいさつが習慣化している。	2.9	・家庭でのしつけが大切。 ・挨拶は返してくれるが、自ら挨拶してくれる児童は少ない。 ・指導はしているが、習慣化はしていないように感じる？難しい。 ・朝のあいさつにばかり注力していることは残念です。下校時や、訪問者へのあいさつ、お礼や、ちょっとしたでも人にあたってしまったときなど、いろいろな状況に広げられるといいなと思います。 ・あいさつ運動も熱心にやってくれている児童が多い。 ★朝のあいさつの様子は前年度よりもよくなっているように感じる。朝のあいさつ以外について、その都度学級で指導を行っていききたい。
32. 児童が校舎内を走らないで過ごしている。	2.1	・全教職員で指導することが大切。 ・毎年課題であるが改善しない。本当に改善しようとする気が感じられない。教師一人一人の声掛けだけでは限界がある。走れないようにする仕組みを抜本的に整える必要がある。 ・業間休みや昼休みの開始時に、トトロの【さんぽ】の曲を流してみるのはどうでしょう。 ・引き続き注意を促す。 ★全員が意識を高くもって指導することはもちろんですが、曲を流す、廊下にペットボトルを並べるなどの具体的な対策も検討していきましょう。
33. 教育相談における校内体制が整備されている。	3.2	・不登校傾向児等の教育相談・カウンセラーとのつなぎ等が十分でないと感じることもある。すべて教育相談が必要ではないのかもしれないが、関係機関へつなぐことも必要なのではないかなと思う。

導	3 4. いじめに関して実態を把握し、教職員が共通理解の下、いじめの防止・指導に取り組んでいる。	3. 5	・いじめアンケートの集計が大変です。教員の仕事は、数を集約することではなく、いじめを解決したり防いだりすることです。余計な仕事が増えることで、子どもへ向けるべき目線が減るのではないでしょうか。 ・いじめアンケートと人権のアンケートで重複しているので一本化してもらいたい。 ★いじめアンケートの集計ありがとうございます。集計方法を簡単にできないか、アンケートの回数や時期について効果的にできないか検討していきたいです。
	3 5. 規範意識を高めるため保護者や地域住民、関係機関等と連携して取り組んでいる。	2. 8	・家庭でのしつけが大切。 ・お便りなどをおしとお知らせする。家庭でもしていただけることはあると思う。 ・取り組んではいるが、どうしても伝わらないこともあり、難しさを感じる。
	3 6. 避難訓練や安全意識高揚のための取組を進めている。	3. 5	
	3 7. 児童が掃除の仕方を身につけ、進んで掃除をしている。	3. 0	・一生懸命取り組んでいる児童は多いが、方法が雑な児童も散見される。お掃除ビデオを見せることも大切であるが、教師が丁寧に各掃除場所の指導を行う必要がある。 ・掃除の仕方、環境を毎年委員会を中心によく考えてくれています。 ・ぼろぼろのほうきが多すぎるので大量購入してもらいたい。 ・清潔にするため、きれいにするため、ということを意識させたいものです。 ・学級や掃除場所によって、時間まで取り組まずに終わっているところを見かけます。掃除の時間の終了までは、あと数分できれいにできるところを探させたり、見直しチェックをさせたりして、しっかり取り組むことを全校で徹底したいです。 ・清掃時間は教師もいっしょに清掃に集中したらどうでしょうか。見回りも必要ですが、曜日ごとにすることもできます。また、机仕事が必要なきもあるかもしれませんが、教師が静かに掃除に取り組んでいる姿を見せることは大切だと思います。 ★各教室の掃除道具の状態は年度末に確認し、どれぐらい購入できそうか検討したうえで交換を行いたいと思います。 ★各掃除場所の指導、教師が静かに掃除に取り組んでいる姿を見せることをより徹底していきましょう。
	3 8. 児童自身が生活環境をよくしているようとする態度を育てている。	2. 9	
道徳教育	3 9. 道徳教育の年間指導計画は、児童や地域の実態を考慮している。	3. 2	
	4 0. 道徳科の年間指導計画に基づいて、指導のあり方や実践を進めている。	3. 2	・教科書の内容が児童の実態にあっていないと感じるときは、NHKの番組などを上手に活用したい。
	4 1. 道徳科の時間を大切に、年間の授業時数が確保できている。	3. 1	
特別活動	4 2. 特別活動を通して、児童が自主的・主体的に活動する態度を育てる指導ができている。	2. 9	・来年度の縦割り活動が楽しみ ・あまり自分の学級で、学級会を積極的にできませんでした。
	4 3. 自然体験や社会体験等の体験活動を計画し、実施している。	2. 9	・ピオトープを作る。（人、予算が必要ですが）
	4 4. 委員会活動やクラブ活動では、適切な時間を確保し、児童の自主的な活動が行われている。	3. 2	・成績処理のころのクラブをなくし、5時間目で下校させてほしいです。 ・委員会の日を金曜日にすることはできますか？ ・委員会、クラブの開始時刻に教師がそろるように校時を工夫する必要がある。 ★クラブの回数は各学期に3回、年間9回は確保したいと思います。本年度は月曜日が少なく日の設定が難しかったですができるだけ成績処理の時期のクラブは避けたいと思います。 ★授業時間の確保のため、金曜日の委員会活動は難しいです。 ★下校指導のため全担当がクラブ・委員会の開始時間にそろうのは難しいと思われます。生徒指導部の総括であったように学期ごとにクラブ・委員会の主担当を決め主担当は開始時刻に間に合うように調節できないか検討していく。
人権教育	4 5. 児童や地域の実態を踏まえて、人権教育推進計画を作成して、活用している。	3. 0	・管理職の、教職員に対する人権意識が低いと思います。 ・人権教育に取り組む時間の確保が難しい。上手に計画していかないと、まったく取り組まなくなってしまうのではないかと心配である。若い教員に引き継いでいくことを大切にしていける必要がある。このままでは、人権教育は消えてしまうのではないかと心配である。 ★各学年で重点教材の取り組み際に教員間でしっかり教材研究を行っていく必要性を感じます。取り組める時間としては、総合的な学習の時間をメインに考えるしか方法はないかなと思います。
	4 6. 年間指導計画に基づき、重点教材を使った指導が行われている。	3. 1	
	4 7. 人権尊重に関わる様々な課題を共通理解し、指導方法について、全教職員で話し合っている。	3. 0	・人権の授業公開に参加する職員が非常に少なかったことはとても残念です。特に若手教員の参加がなかったことはとても残念です。クラスの授業も大事ですが、教科書がない人権教育についてもっと興味と関心をもってほしい。 ★学校全体で授業公開をしていただく先生のお気持ちも考えて、積極的な参加をしていきましょう。
	4 8. くらしの中にあるさまざまな差別について、正しい見方・考え方を育てることができている。	2. 9	・配慮することが多く、自分が時代に追いついていないか自信がない。市人教の研修会で話を聞けるのがあるがたい。 ・学級の中でも気になる発言があれば、その都度指導しています。
	4 9. 職員が特別支援教育について十分に理解している。	3. 2	・実践的な研修を充実させる。

特別支援教育	5 0. 支援員、学生ボランティア等を生かし、児童のニーズに応じて支援を行っている。	3. 5	・支援員さんを増やしてほしい。毎日2人はほしい。 ・均等に時間を割り振っていただいているせい、ほとんど必要のない国語の時間に来ていただくことがある。それなら、もっと支援が必要な算数などのクラスに行ってもらった方が有意義に感じる。 ・職員全体にきちんと紹介されない人がいる。お互いに失礼な話なので臨時で職朝をするなど自己紹介の場が必要かと思う。 ★支援員さんの配置を必要に応じて年度途中でも見直し、再配置するようにします。
	5 1. 児童がなかよし学級について正しく理解できている。	3. 0	・「遊びに行っている」といった誤解をしている児童は少なからずいるように思う。4年生のハートフルプロジェクトで学習する機会はあるが、それだけではなく、各学年で年1回は学ぶ機会があつていいと思う。 ・クラスメートの個人のちがいを認める場面を持つこと。 ・子どもの考え方の傾向は各家庭の考え方に影響されるところが大きいに感じます。保護者にも、なかよし学級やひかり教室についての理解を正しく伝えられるといいと思います。
アキ教ヤ育リ	5 2. 児童のキャリア発達につながる体験的な活動を計画し、実施している。	2. 8	・ゲストティーチャーを各教科で願ひする。 ・キャリア発達に向かう教材、時間が少ない。
保健指導	5 3. 児童の健康課題の解決に向けた保健指導が、計画的に行われている。	3. 4	・二測定の前に指導していただく時間が、とても有難いし、子どもたちも良く聞いています。 ・保健室前の掲示板がおもしろく、子どもたちもよくみている。
	5 4. 年間指導計画に基づいて性教育が行われている。	3. 2	・低学年でも着替え等男女一緒にする児童も増えてきている。いろんな意味でも更衣は別にしていたほうがいいと思う。 ★来年度学級数減のため空き教室も増えるので、そちらを活用することも検討していきましょう。
	5 5. 年間指導計画に基づいて食育指導が行われている。	3. 5	・食育のビデオも毎月準備していただいているのもありがたい。 ・給食中に小池先生が来ていただいて、話していただいたり、時々お手紙がついていたり、きっかけを貰えることが有難い。また給食委員の動画も、子どもたちが楽しみにしています。 ・個人差があると思います。元になる教材が必要だと思います。食材食品だけではなく、マナーや食に対する考えも食育になると思います。
	5 6. 食物アレルギー等を有する児童に対して、指導体制や救急体制が整っている。	3. 6	・今年のはてんかん発作の研修も同時にできてよかった。
読書活動	5 7. 朝読の活動が生かされている。	3. 2	・朝読を廃止し、朝学習をすべてモジュールとすることで授業時数を確保し、5時間目で下校する日を多くすることはできないでしょうか。 ・朝読をせず、他の活動に当てているクラスが見られる。 ・読書タイムは読書をする時間としてほしい。学習するじかんではないことを共通理解してほしい。 ・読書貯金通帳をもっと活用させたい。紙だとスグボロボロになるのが難点 ・読書通帳はとても良い取り組みだと思うが、学級でしっかり書かせられなかった。
	5 8. 図書館は有効に利用されている。	3. 4	・今年度、図書館司書の方が来ていただけてとてもよかった。 ・図書館司書が配置されたので、これを最大限に有効活用して、様々な活動を取り入れる。 ・児童のニーズに合った図書、学習内容に即した図書を配架していかないと児童は図書館に集まらない。児童数が多かった時に購入した蔵書数があるため、図書の予算が少なくなってしまうため、時代に合った図書が購入できない。児童の興味にあった図書がないため児童が読まない本がたくさんある図書館に子どもは寄りつかない。図書の予算を増やしてほしい。学校司書の継続と増員をお願いしたい。 ・今年度、本の整理をしていただき、有難かったです。
体力向上	6 9. 体力の実態を分析し、課題を明確にしている。	3. 1	・過去の個人データを一人一人が時系列に見えるように整理する。
	6 0. 運動の楽しさが味わえる学習が計画的に行われている。	3. 1	
	6 1. 体力づくりにつながる活動が進められている。	3. 2	
研修・研究	6 2. 研究教科の研究目標や研修計画を全教職員が共通理解している。	3. 3	・研究だよりを出していただいて、ありがたかった。
	6 3. 研修の成果を積み重ね、課題を明らかにし、日頃の教育実践に生かしている。	3. 1	・教材研究の時間をもっと作れたらいいと思いますが、正直そんな時間が作れる隙間もないと感じております。
	6 4. 学年でまとまって教科研修を行い、成果を上げている。	3. 1	・もっと学年研修の時間をとりたいのですが、どこにそんな時間があるのでしょうか。行事の精選を考えてほしいです。学年・個人研修の時間を多くすることが、子どもたちの学力の向上につながると思います。 ・学年で話し合う時間がなかなかとれないので、業務量の削減や働き方の工夫をそれぞれで考えていくべきだと思います。 ★掲示板の活用、会議・終礼の時間短縮、行事の見直し等、時間を削減できる方法を来年も考え、実行していきたいと思います。
	6 5. 総合的な学習の時間において、テーマや課題設定が適切であった。	3. 2	